

# 令和元年度 大槌町成人式

1月13日（日）、令和初となる大槌町成人式が城山公園体育館で開催され、スーツや着物を着た新成人91名が出席し、会場を華やかに彩りました。

式典が始まる前は、久しい友人との再会を喜ぶ声や新成人による虎舞、神楽の披露などで賑やかでしたが、式典が始まると東日本大震災津波で犠牲になった鬼原吉さんの写真と共に凛とした姿で臨んでいました。

式典では、新成人を代表して新田亮介さんが「東日本大震災の時、私たちは小学5年生で、忘れられないものとなっています。しかし、その苦難を乗り越え、この町はここまで復興し、私たちも町とともに成長してきました。震災によって亡くなってしまった同級生をはじめとして、今日この場に参加できない人の分まで、私たちは努力し、日々の生活を送っていくことが使命であると考え

ます。私は地元を離れ、多くのことを経験し、たくさんのことを学び、自分のいる環境は自分にとってより良いものとなるかを考えることや、そこから一歩踏み出してみることが、そが努力なのではないかと感じていきます。これまでの経験を踏まえ、自分の人生をさらに一歩ずつ進んでいきます。」と決意を述べました。

成人式実行委員会の進行で行われる記念アトラクションでは、後輩たちによる演奏や、東北楽天ゴールデンイーグル選手からの激励の言葉が披露されました。また、実行委員会が作成したスライドショーでは懐かしい写真が上映され、会場の新成人から歓声があがりました。記念アトラクションの最後はスペシャルゲストとして、新成人の恩師が登壇し激励の言葉を送りました。

式典の終了後には、岩手県建設業協会の企画で今年の新成人が小学校卒業のときに作製したタイムカプセルが開封され、中に入れていた思い出の品や写真、自分に向けた手紙が8年の時を超え、新成人に届きました。

